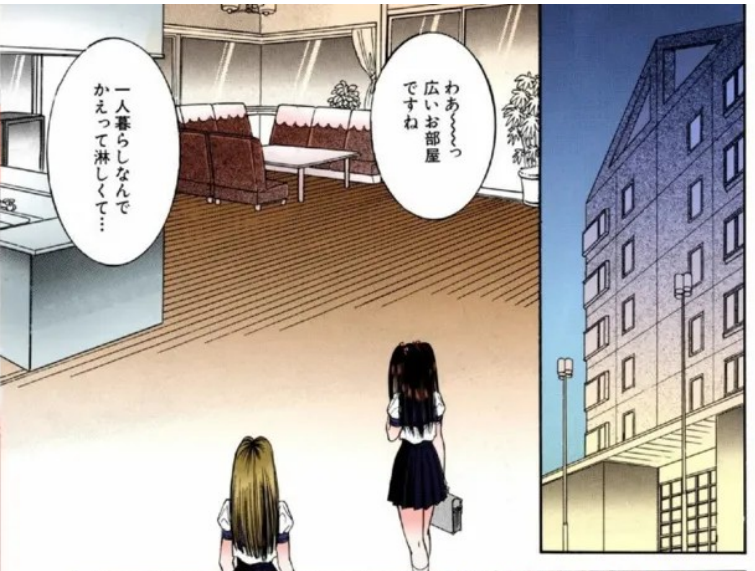


# 美少女妄想館











ででも  
愛美先輩の  
いいつけなら  
私.....

ででも、  
逃げたのなら  
愛美先輩に  
嫌われちゃう.....



あなたの  
大好きな  
あんずジャムよ

さあ  
いいものを  
あげるわ



キエツ

おいしそう  
でしょう



憧れの  
愛美先輩の  
アソコが……



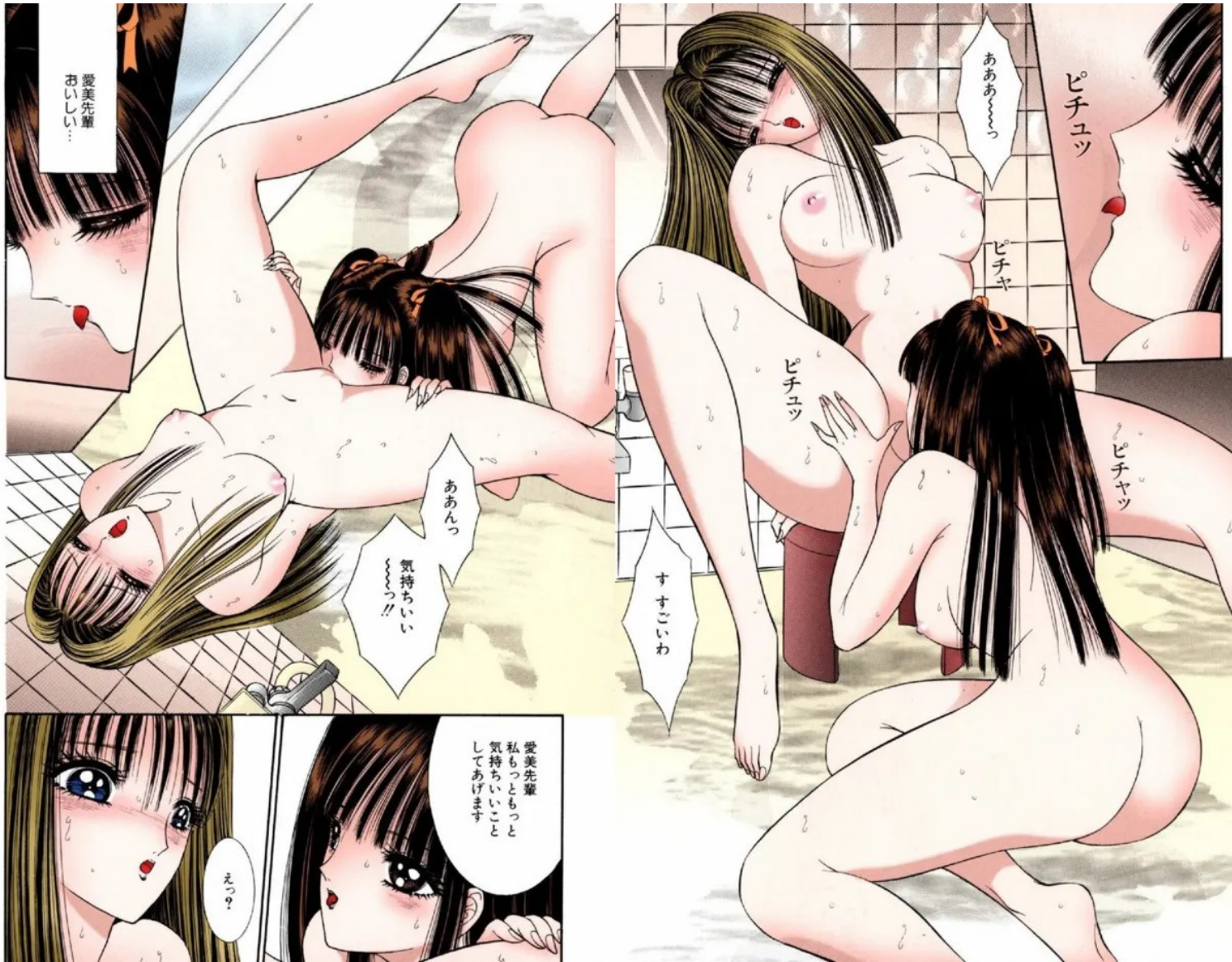
さあ  
キレイにして  
あげましょーね

うれしい……  
愛美先輩の手が  
私だからだよ……



あつあつ  
あわせ……!!

あつ  
ああん……



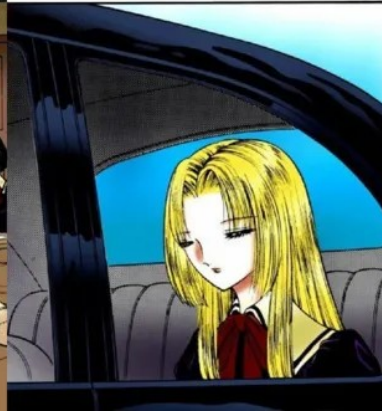


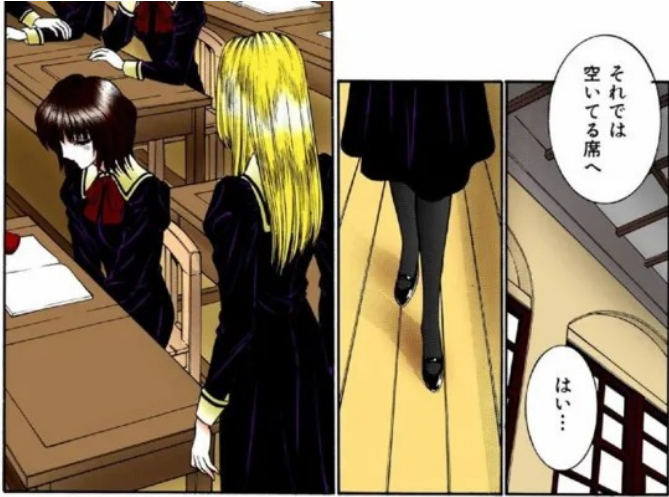


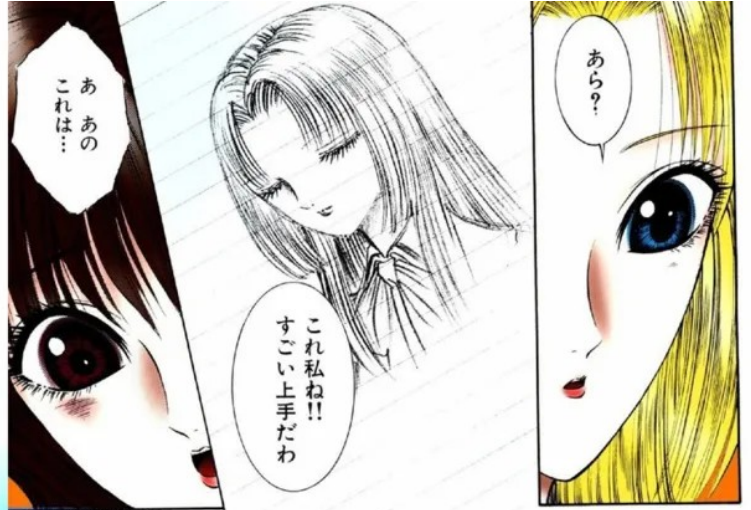




顔を合わせれば  
怒つてばかり  
あの人の笑顔を  
見たことがない...

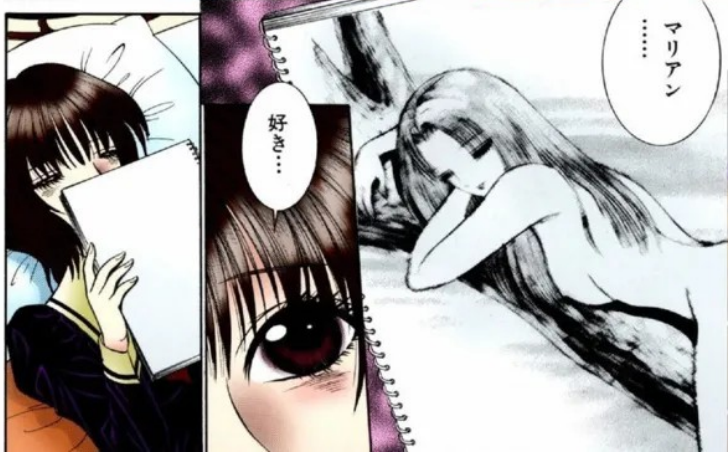
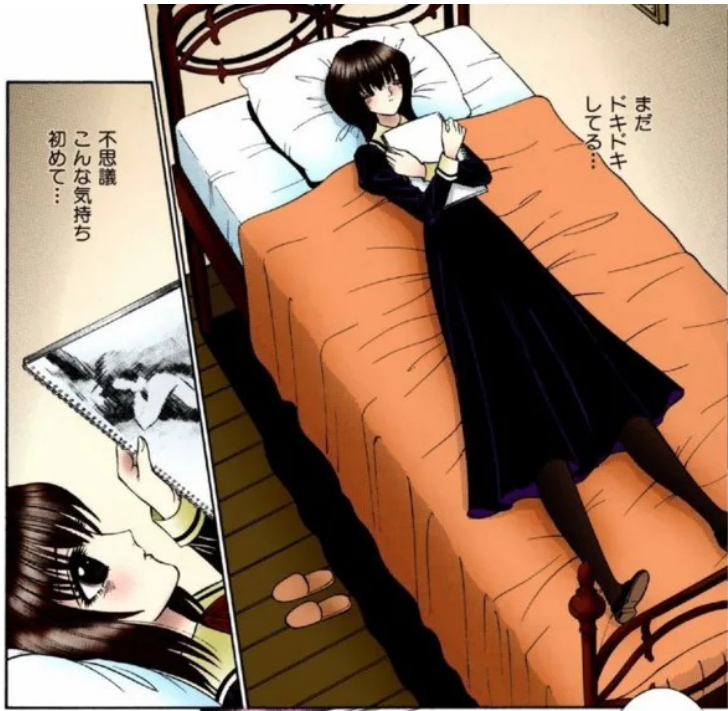


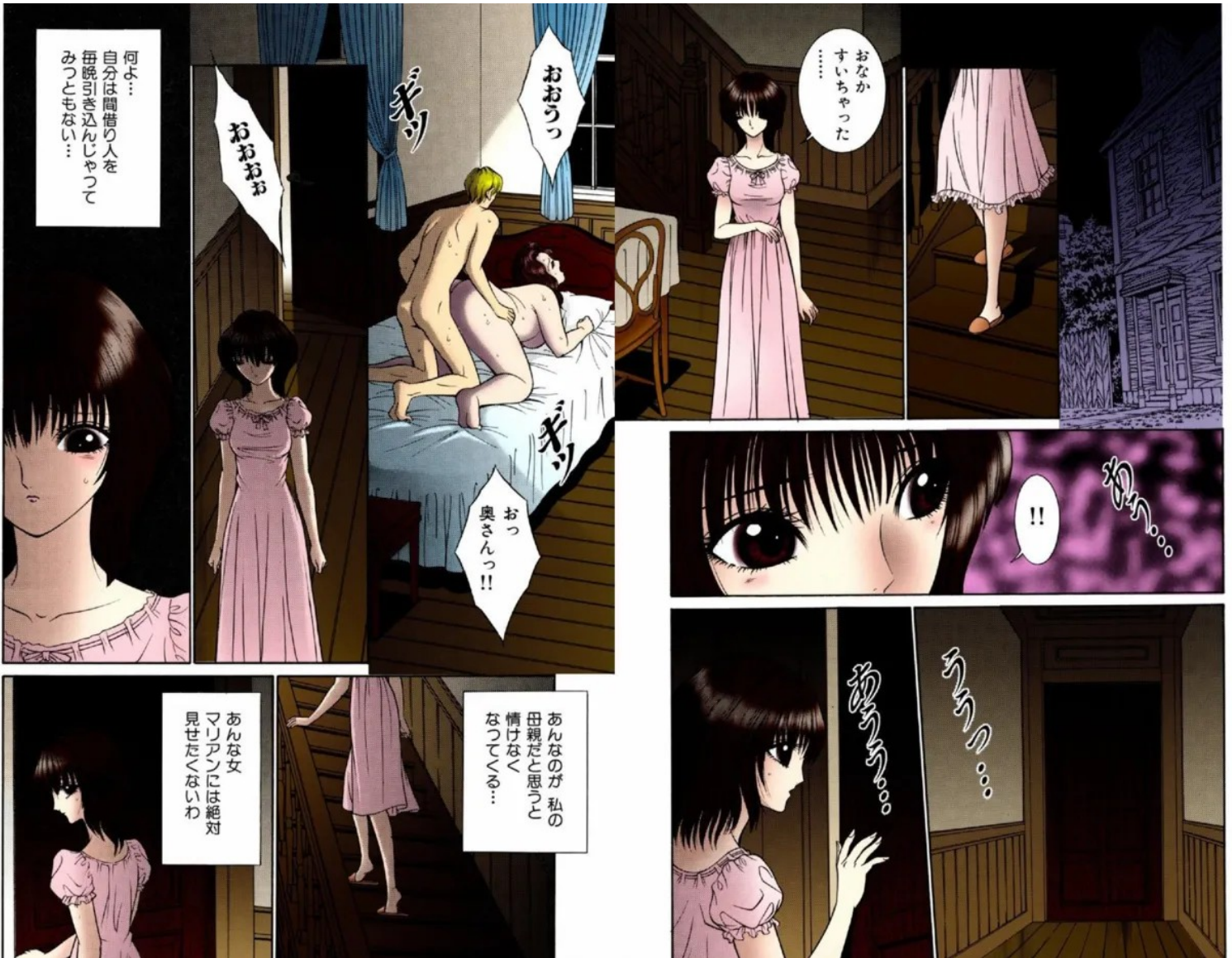


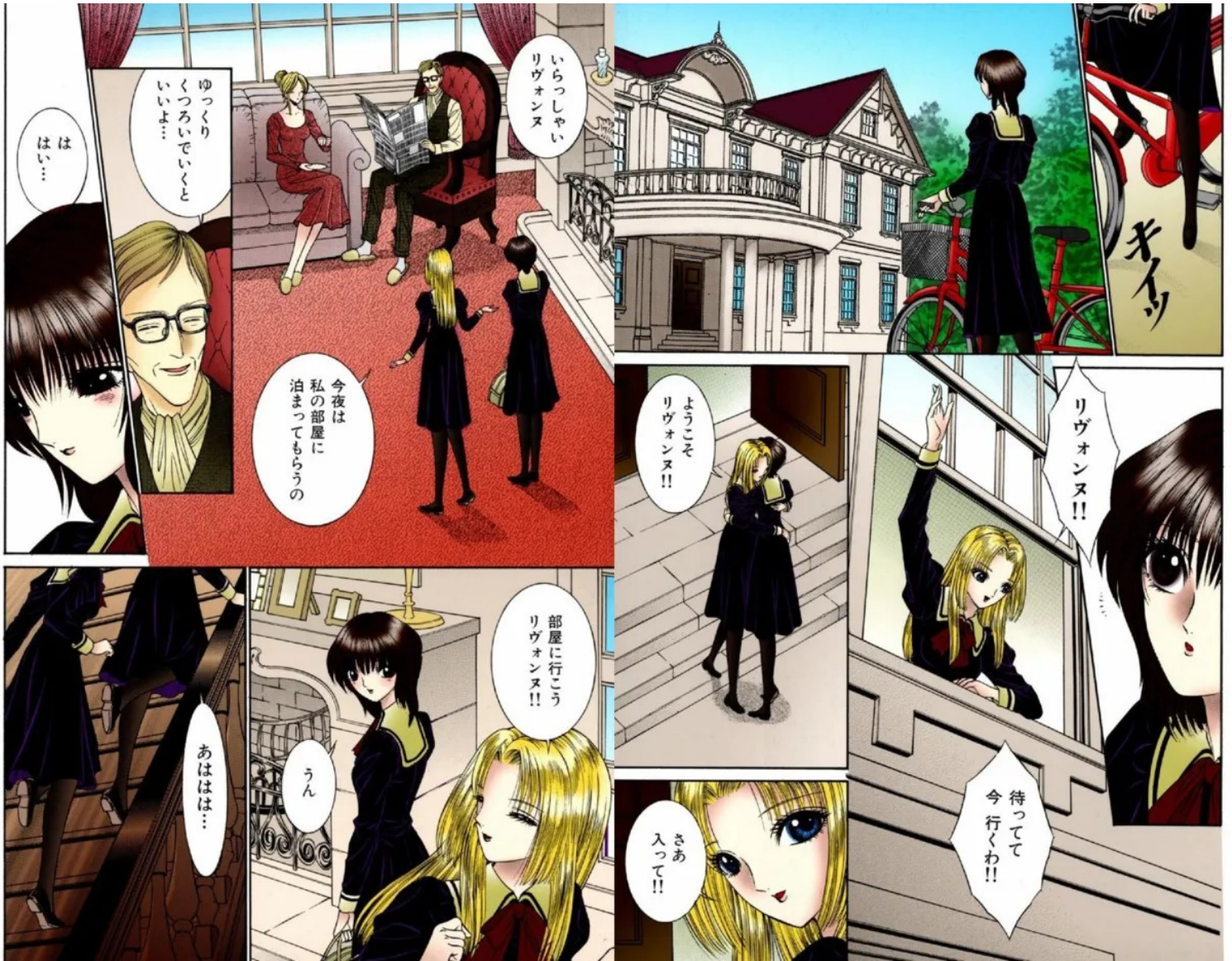
















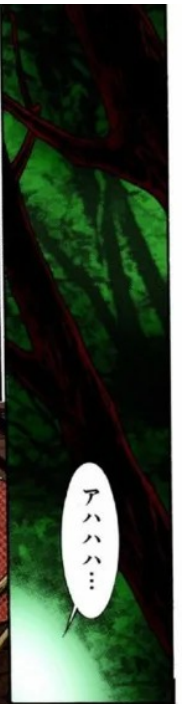
ゆっくりと  
秘密の部分に  
当てがうの

ハシバミの  
ほうきの柄に  
魔女の秘薬を  
たっぷり塗って



赤ワインよ

それ  
なんなの？



アハハハ...



しばらく  
こすっていると  
飛べるように  
なるんだって...

ハアッ

ハアッ



あなたも  
飲んで

うん...



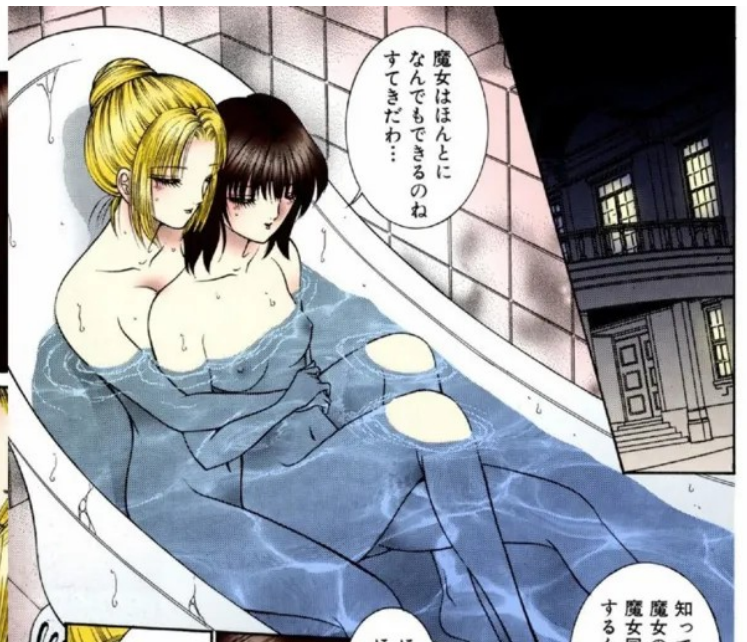




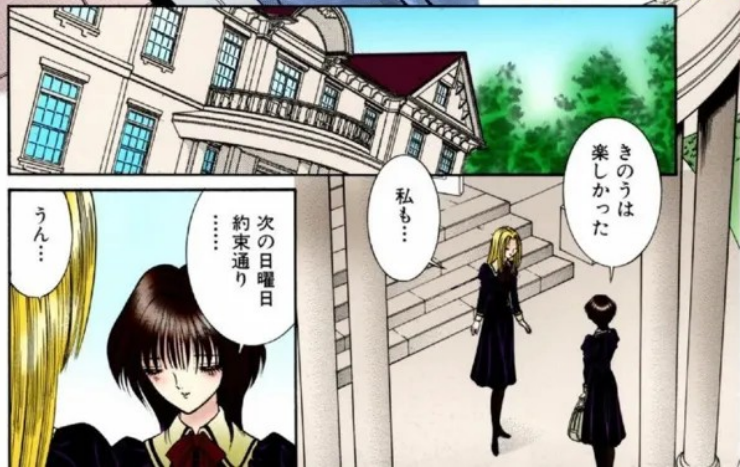
うれしい  
……



じゃ……  
誓いのキスを  
……



魔女はほんとに  
なんでもできるのね  
すてきだわ……



きのうは  
楽しかった

私も……

次の日曜日  
約束通り  
……

うん……



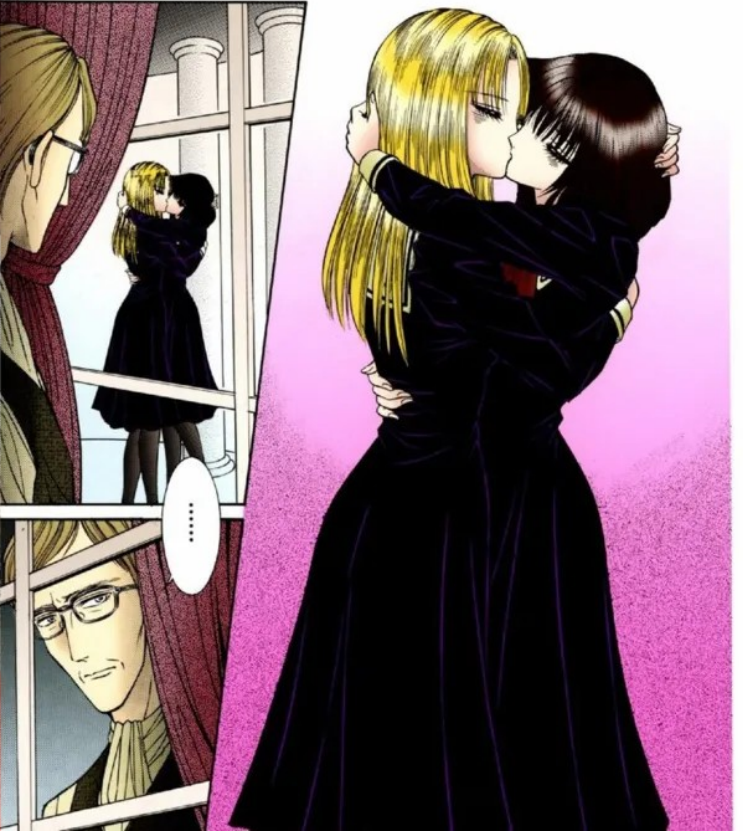
ほ……  
ほんと？

言ったでしょ  
魔女はなんでも  
できるって……

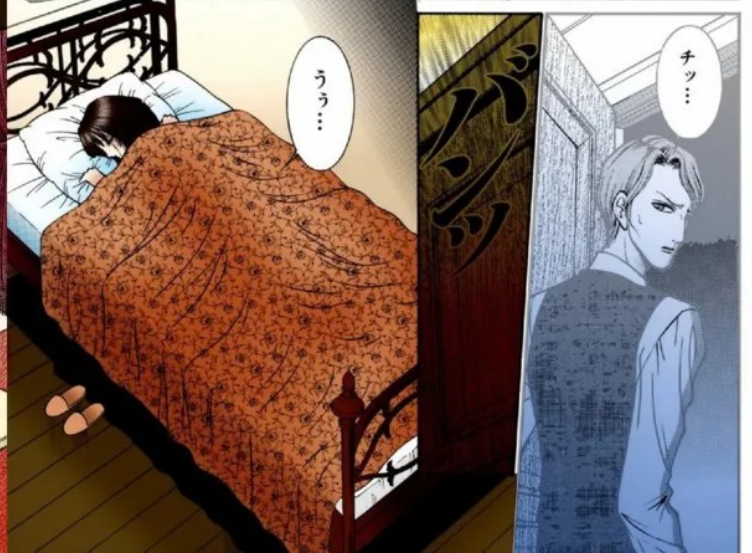
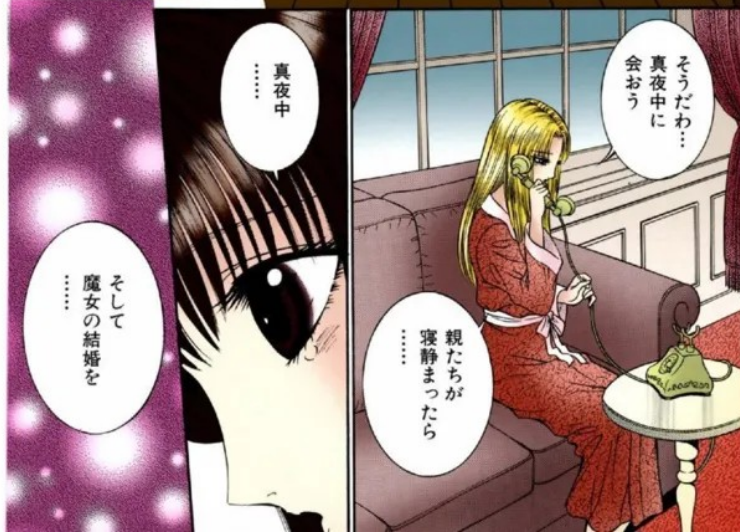
知ってる？  
魔女の世界では  
魔女同士が結婚  
するんだって……

私たちも  
みんなにないしよ  
で  
魔女の結婚を  
してみない？

ほんとに  
結婚できるの  
……？









私たちは  
永遠の愛を  
誓い合った

誰にもまじり  
私たちが裂くことは  
できない



あ…

ああっ…



アーメン  
……

地の精霊アグアよ  
水の精霊エヘエよ  
火の精霊アダナイよ

愛の女神  
アルテミスよ  
我らを祝福  
したまえ



愛してるわ  
リヴェンス…

愛してる  
マリアン…



心と身体が  
溶けていく感覚  
……

私とマリアンは  
今ひとつになつて  
混ざつていく……



私の処女は  
マリアンに  
捧げられた

あぁっ

ワキゅ……

マリアンの  
美しい指を  
私の中で感じる

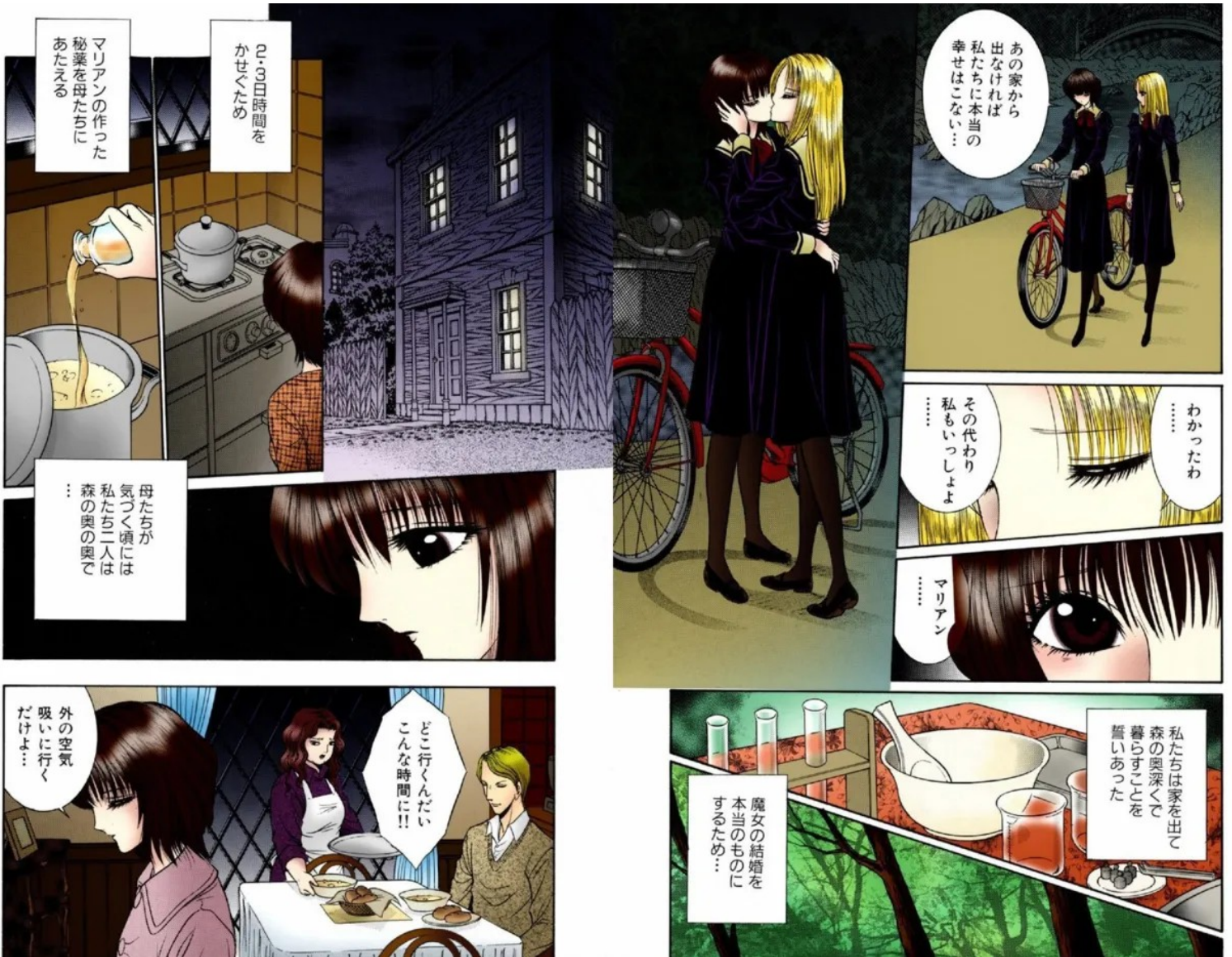
快樂の波が  
何度も何度も  
しぶきをあげる



私たちの愛を  
守るためには  
それしか  
方法がないの……

本気なの？  
リヴェオニス

えっ!?





もしも  
捕まったら



私たち  
引き離されて  
しまうのかな...

たとえ  
そうなったとしても  
私たちの心までは  
引き離せないわ



永遠に  
.....

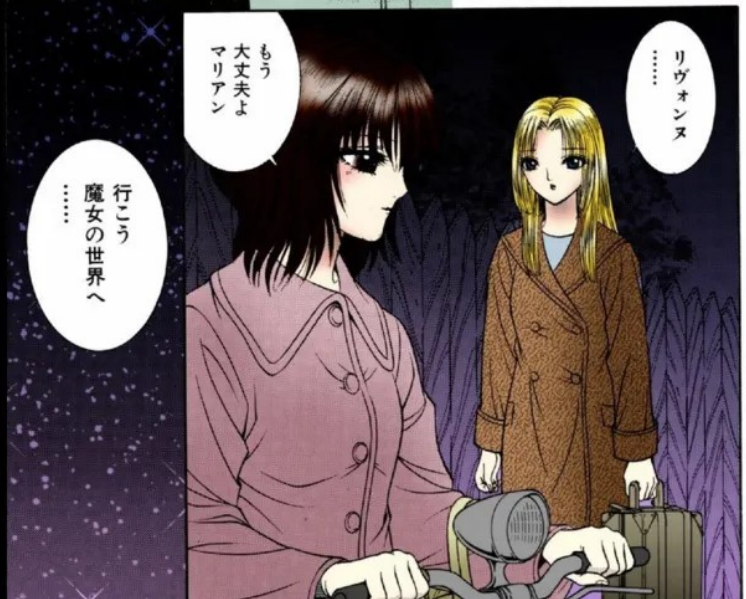
*Fine*



夕食は!?



いらない...



もう  
大丈夫よ  
マリアン

リヴォンヌ  
.....

行こう  
魔女の世界へ  
.....



ずいぶん遠くに  
来ちゃったなあ



あの娘さつきから  
乗ってるけど  
いつたいていまで  
行くんだらう

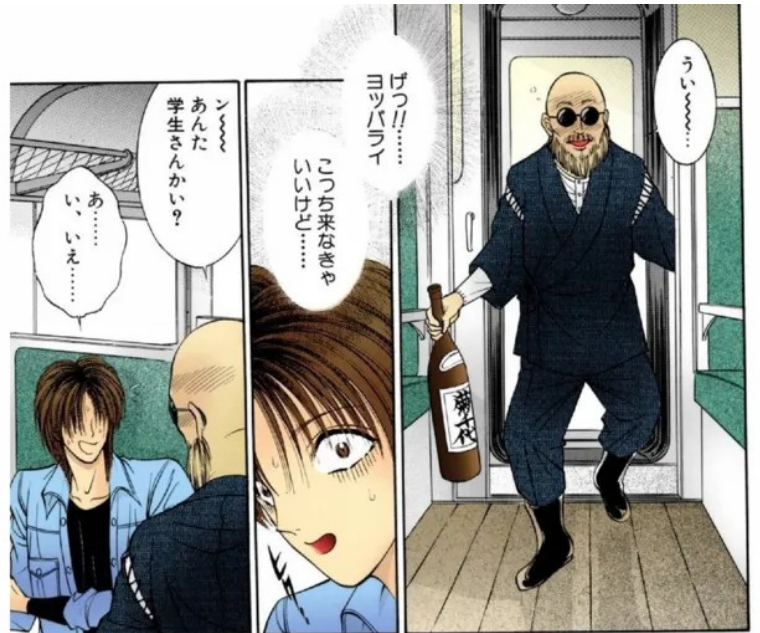


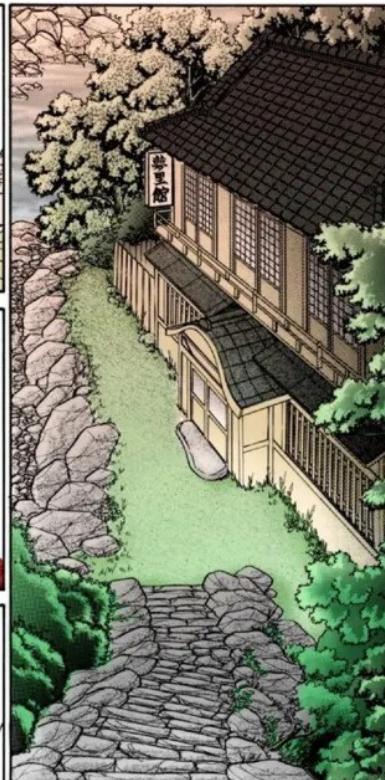
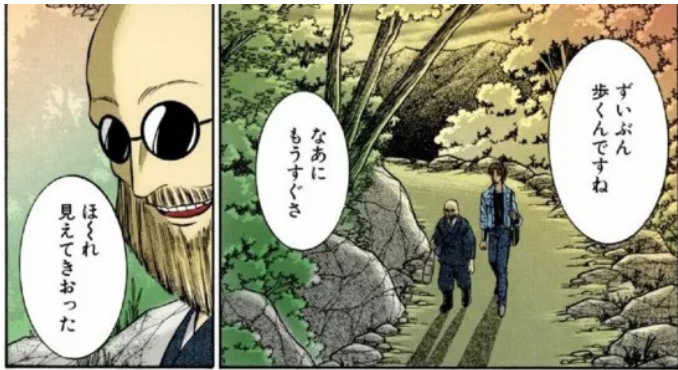
けっっっ  
可愛い娘だなあ

ガクッ

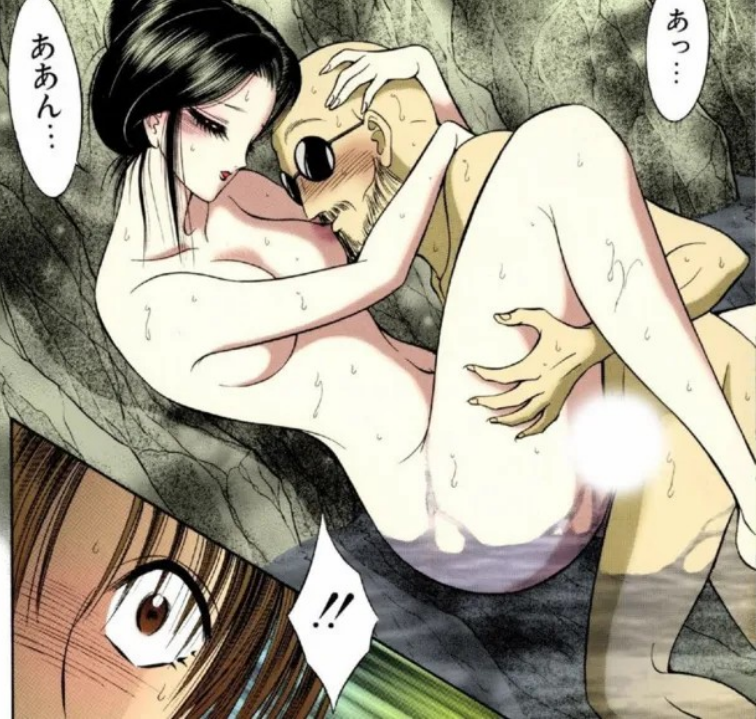
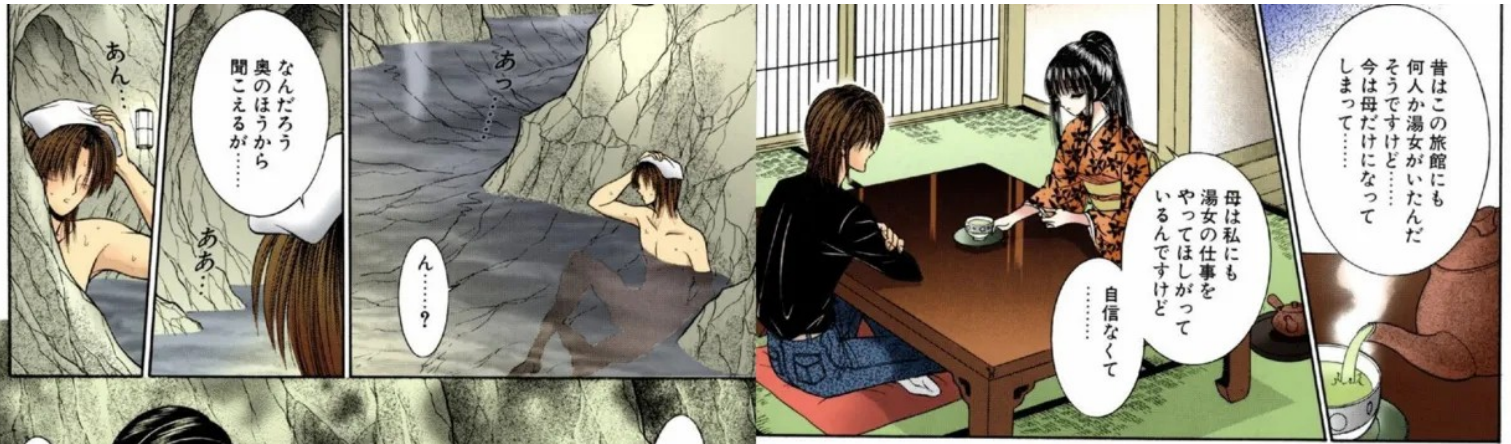


# 夢里館の少女





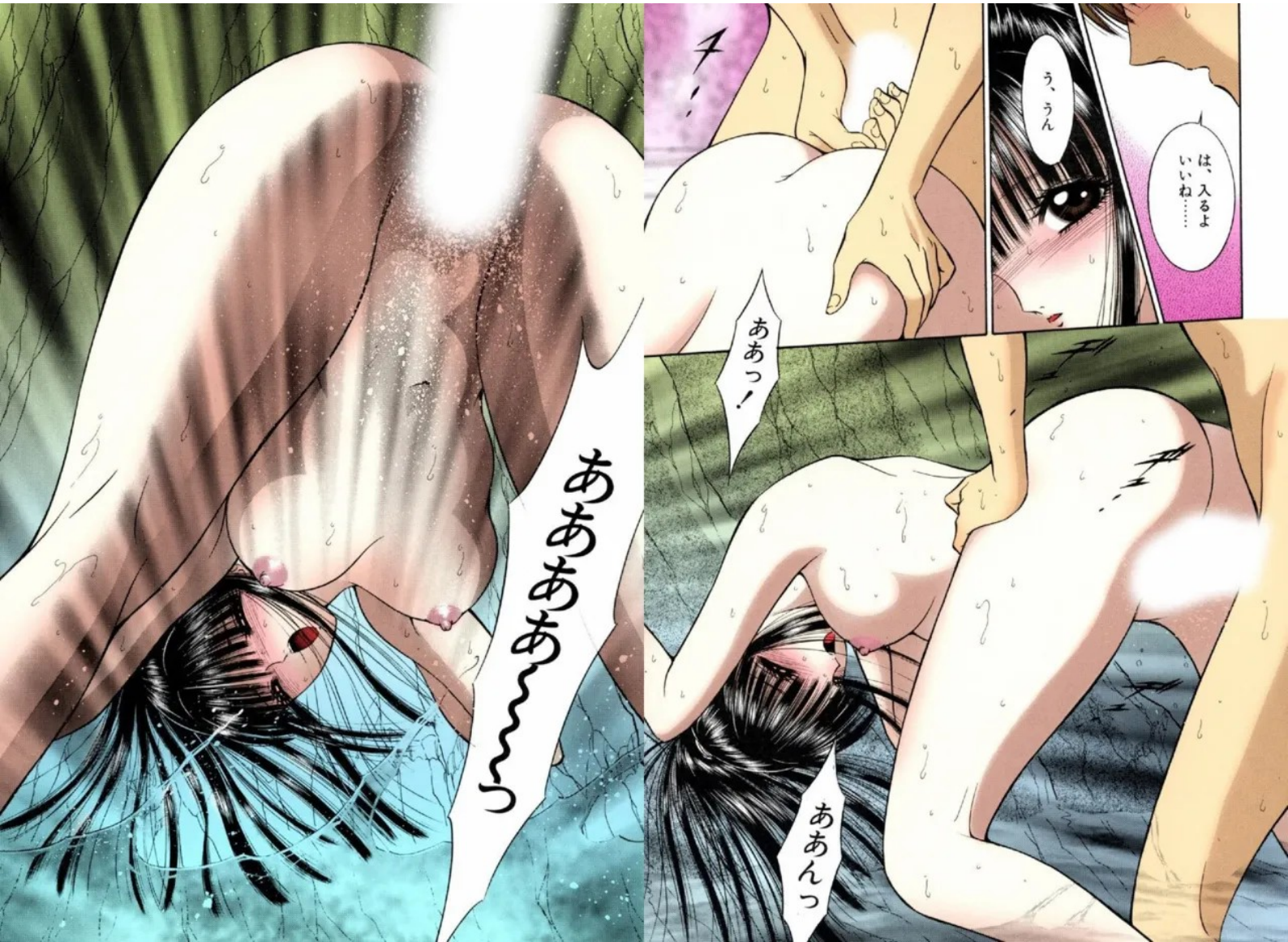












うんうんうん

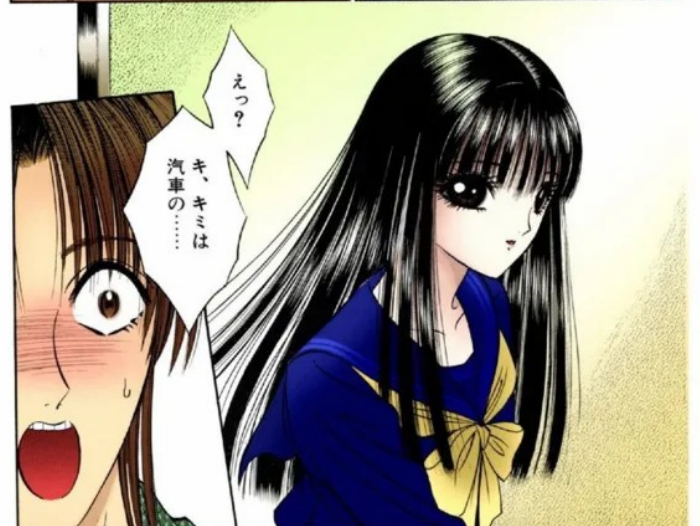
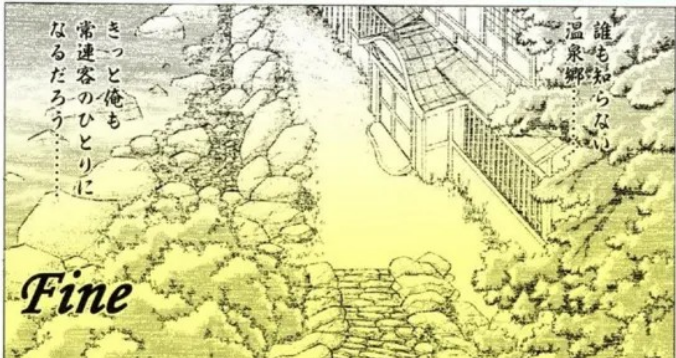
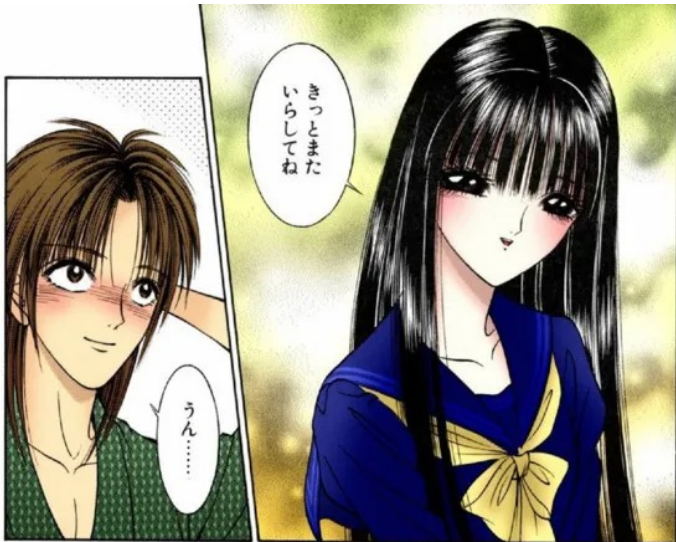
ああんっ！

ああんっ



うん

は、入るよ  
いいね……











そんな……

最悪の場合  
侵略者による  
誘拐もありうる



これからも  
真実を知るわれわれに  
さまざまな形での  
妨害工作があると  
思われる……



地球侵略計画が  
……!!



そう……ついに  
始まったんだよ……  
やつらの  
計画が……



だけど  
安心してくれ

以前からぼくが  
コンタクトしている  
宇宙人がぼくらのために  
パワーをわけて  
くれるんだ

パワー？



恥ずかし  
がらないで

これは侵略者から  
身を守るための  
唯一の方法なんだよ

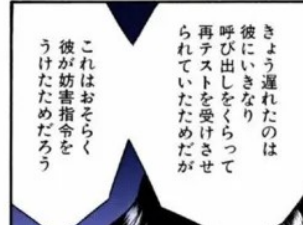
えっ!!  
でも

キミにも  
そのパワーを  
わけてあげよう

さあ  
服をぬいで



ううん……



これはおそらく  
彼が妨害指令を  
うけたためだろう

きょう遅れたのは  
彼にいきなり  
呼び出しをくらって  
再テストを受けさせ  
られていたためだが



キミのクラスの  
友達も約半数は  
すりかわっている  
そうだ……



先生はボクに  
目をつけている

実はうちのクラスの  
先生もそうなんだ





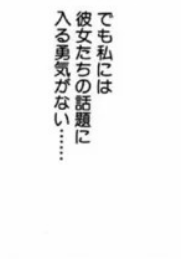




*Fine*











ベンチで  
エッチなこと  
してるアベツツ  
それを茂みで  
のぞいてる  
男たち……

ああ夜の公園って  
怪しい人たち  
ばかり……

ういっつ  
あの男の人の前で  
このコートを  
ひろげたら……

今の私も  
その中の一人  
なのね……

きやっ!!  
サッ

私って……  
ヘンタイかも

ドキ  
ドキ  
ドキ



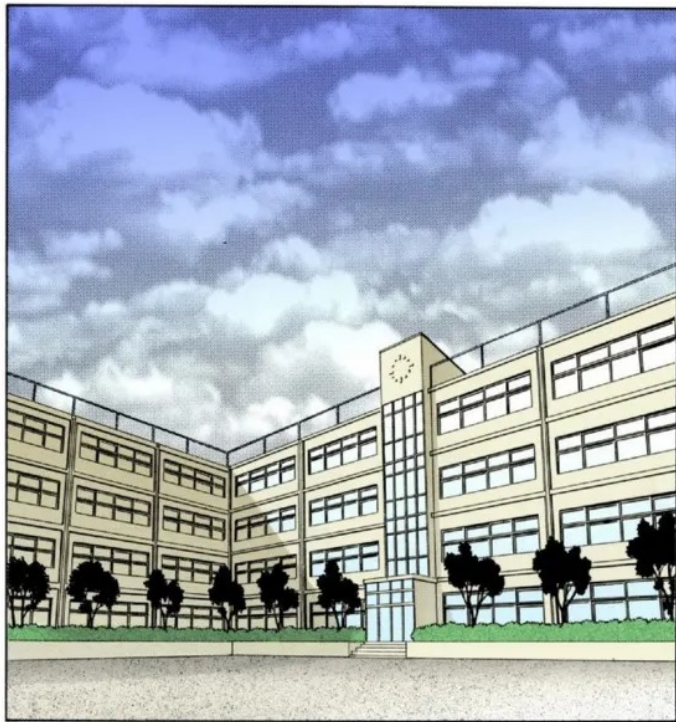


お願いします  
です……  
入れて下さい  
……











あつ  
ああ...!!

ああんっ.....



.....  
ああの



すっすっごい!!  
渦の.....  
渦の中に  
吸いこまれて  
ゆく~~~~っ!!

ああああくっ



そこ  
閉めといてね

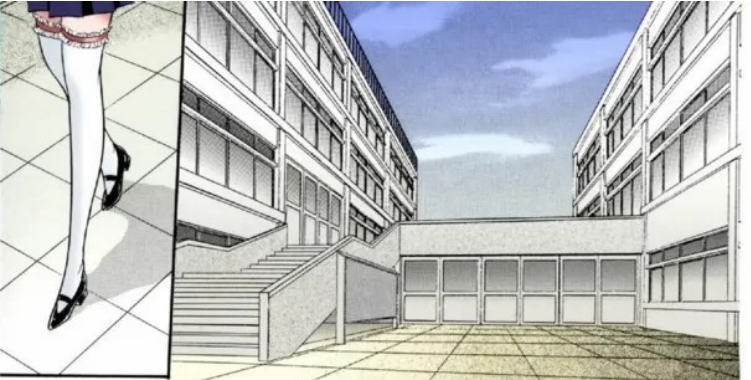
ザッ



すっすばらしいよ  
愛子くん!!

あっ!!

ああんっ!!



あっほらほら  
愛子よ...

きょうの  
お相手は  
誰かしら...

愛子.....



あああゝっ!!

と飛ぶ!!

今わたしは  
空を飛んで  
いる~~~~っ!!



あっあっ

ああんっ

保健室











そのとき私は



至高の幸福感に  
つまれたのでした

*Fine*

# 迷宮院の少女



I: 迷宮院の人々





カツ  
カツ  
カツ

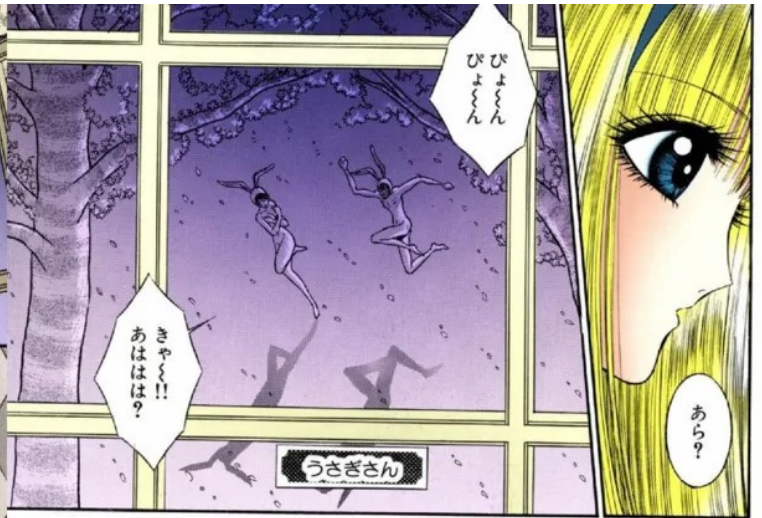


おとなりの  
Sさんは  
何してるかしら？



開放療養を  
はじめてから  
ここもずいぶん  
楽しくなったなあ

そうだ  
こんな夜は  
こっそりお散歩  
しちやおつと



びよん  
びよん

きゃく!!  
あははは？

あら？



やあんっ!!

ガ  
ツ

そおくら  
つかまえたあ!!



ウサギさんたち  
また今夜も  
……  
昼間はいつも  
ホクッと  
してるのに

ああんっ

PAPANAPAN



肉美さん

ももっと

もっとよお

どうだいっ!?  
どうだいっ!?!?

ババババ  
ババババ



芸術家のSさんは  
数年前留学先で  
女子学生を  
食へようとしたのだ  
そうです

幸いごには  
彼好みの女性もいす  
ああやうして  
料理の絵を描くに  
とどまっているのです



芸術家S

きょうも  
絵を描いてる  
みたい!



おっおっ...

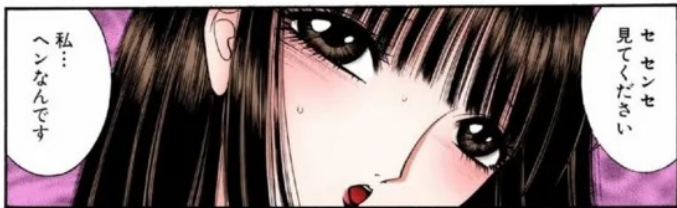


肉美さんたち  
何してるの  
かしら...?

よく  
わかんない  
...



あっ  
あぁ...





III・美少女の秘密



麗華さん  
女同士でこんな  
……

ウフフ…

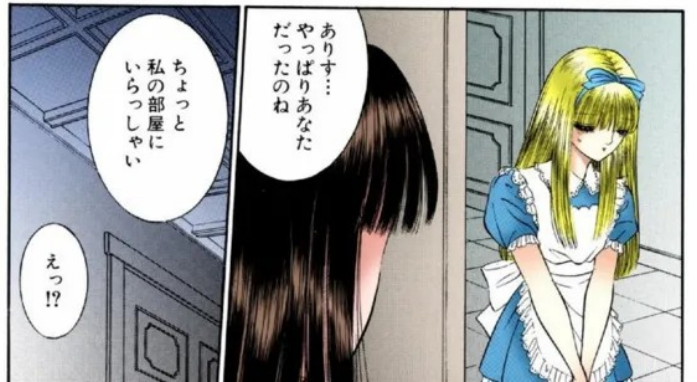
あなた自分のこと  
女の子だと思  
い込んでいるん  
ですってね

あっ!!



!!

出てらっしゃい  
隠れているのは  
わかってるのよ



あります…  
やっぱりあなた  
だったのね

ちょっと  
私の部屋に  
いらっしゃい

えっ!?



ああ：  
たまらないわ

ああんっ



あっあああ：  
麗華さん！！



ごらんさい  
これでも女の子だ  
というの！！

やあくっ！！

ほら  
こんなに  
しちゃってえ



ああんっ



ややめて  
麗華さん！！



可愛いわ  
あります：

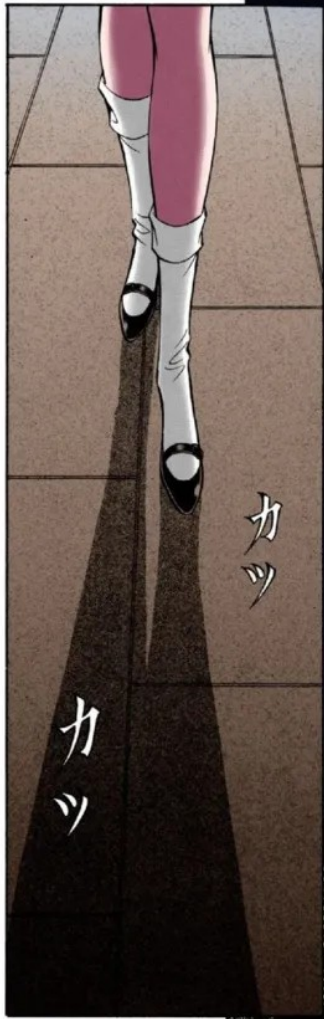


こうして  
迷宮院の夜は  
ふけてゆくのです



いいいわ  
あります

ああっ...



カッ

カッ

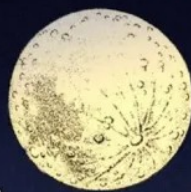
カッ



# 少女M

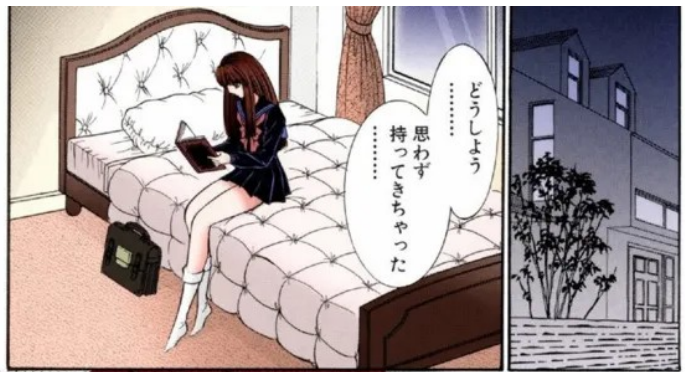


第一章 謎の本



それは  
学校の帰り道

道に落ちていた  
一冊の本を  
手にした時から  
はじまったのでした



どうしよう  
……  
思わず  
持ってしまった  
……



でも

すごい……

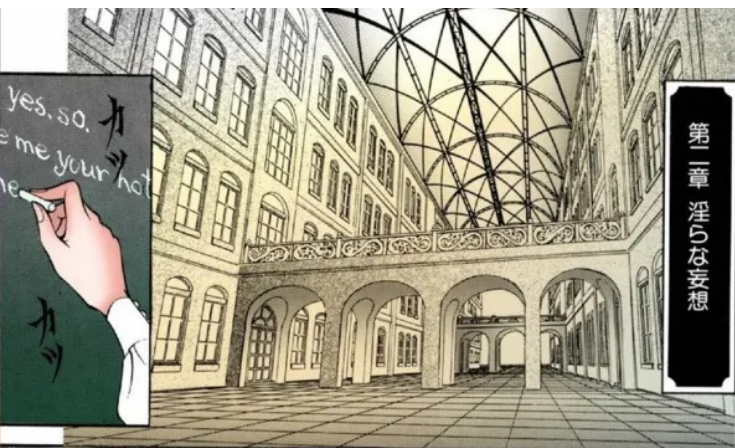


あっ

第二章 淫らな妄想



フフフフ……



yes, so. カツ  
me your hat  
カツ



その本を使って  
オナニーしていた  
事もね……

君がきのう  
いけない本を  
拾ったことを……

まりかちゃん  
僕たちは  
知っているんだ



なあ……  
阿部先生って  
そそるよな

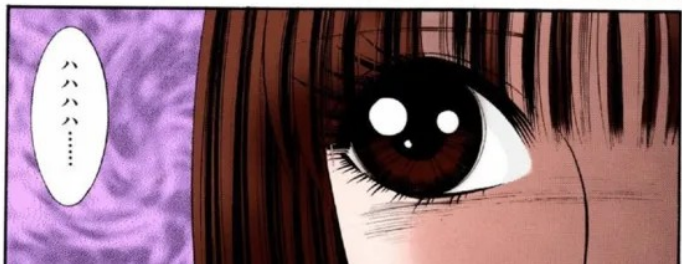


一度でいいから  
やらしてくんない  
かなあ……



おおねがい  
誰にも  
言わないで!!

だったら  
僕たちのドレイに  
なってもらおうよ



ハハハハ……



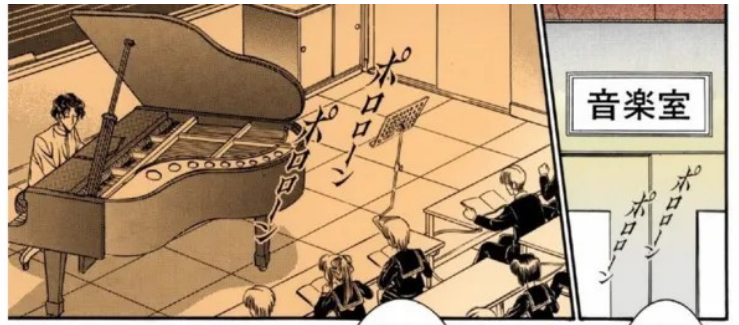




ゆるゆるして  
ください!!



ダメだよ  
そういう  
エッチな娘には  
罰をあたえないと



音楽室



さすがは  
音楽教師ね  
私  
先生にピアノ  
習おうかなあ



ほおら!!  
あっ  
ああんっ



ああん:  
まじかくん  
先生の耳は  
ごまかせないよ  
きみがパイプを  
はさんでいるのは  
すぐにわかったさ



第五章 愛の園

あああゝっ  
このままじゃ私  
気が狂っちゃやうう

誰かに  
メチャメチャに  
されたいのゝ!!

大丈夫かね  
まりかくん!!

ああっ!!

はっ!!

あああゝっ

具合が  
悪そうだな  
保健室で  
休んできなさい

ウッフ...

はっ!!



前からあなたに  
目をつけていたの  
私の目に  
狂いはなかったわ

あんっ

あなたには  
Mの気が  
あるってね



まさかここまで  
ハマるとは  
思わなかったわ

ごめんなさいね  
まりかさん

阿部先生!!

あのいけない本や  
パイプレーターは  
私が置いたの



きょうから  
あなたは  
私のペットに  
なるのよ

あ阿部先生  
.....



ええ!?

あなたに  
拾ってもらうために  
待ち伏せしてね

ああ：  
これもまた妄想  
なのでしょうか

それとも…？

もし  
夢だとしても  
覚めないでほしい  
……

そう  
願わずには  
いられないの  
でした

*Fine*